

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 207 号	氏名	松尾 祐三
学 位 審 査 委 員	主 査 増崎 英明 副 査 関根 一郎 副 査 田口 尚		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は、コネキシン 43 蛋白の発現と造精機能との関連を精子形成能の評価法であるジャンセンスコアを用いて検討したもので、目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 本研究は、乏精子症や無精子症患者の精巣生検検体を対象として、免疫組織化学を用いたコネキシン 43 蛋白発現の定量的解析と造精機能との相関を調べたもので、研究手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価 上記手法でコネキシン 43 蛋白発現を定量的に解析したところ、精子形成過程の段階を示すジャンセンスコアとの間に正の相関が認められたことから、造精機能障害の原因として、Sertoli 細胞、精細胞におけるコネキシン発現異常が考えられ、本研究は精子形成異常の解明に広く貢献することが期待される。			
以上のように本論文は男性不妊症の研究に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学・甲）の学位に値するものと判断した。			